

☆ 目指す子ども像

- がんばる子
- やさしい子
- 元気な子



# わくわく・ドキン!

3・10・1 No 7  
池内幼稚園

## 運動会に向けて!

先月は、緊急事態宣言の延長に伴い、運動会を10月16日(土)に延期いたしました。それぞれ御予定がおありだと思いますが、御理解と御協力の程、どうかよろしくお願い申し上げます。

さて、先月の11日(土)には、予定通り運動会の予行を行いました。子どもたちは、運動会に向けての取組を池内小学校のグラウンドで行っています。特に年長の子もたちは、暑さの厳しい夏期保育中から何度も池内小学校に足を運び、鼓隊やソーラン節の練習を積み重ねてきました。年中以下の子も達も、遊戯やバルーンや綱引き等の種目に楽しく取り組んでいます。運動会当日は、保護者の皆様に子ども達が生き生きと演技や競技に取り組む姿を見ていただきたいと願っています。

今年の運動会も、新型コロナウイルスの感染防止対策を踏まえて行います。具体的には、種目を精選して午前中開催にし、人数制限をしたり観覧席の場所等についても変更させていただいたりしました。特にPTAの本部役員様をはじめ役員の皆様、お手伝いをさせていただく会員の皆様には、前日準備から後片付けまで、大変お世話になりますが、どうかよろしくお願い申し上げます。

### 《運動会の予行の様子》



## 秋の行事を楽しもう!

コロナ禍で1学期は年長以外は遠足が中止になりましたが、緊急事態宣言が解除となり、今月は、子ども達が大変楽しみにしている「秋の遠足」を行います。また、「芋ほり&焼き芋」も行います。秋の行事を大いに楽しみたいと思います。

### ○遠足

年少は今年は「舞鶴公園」、年中は「グリーンスポーツセンター」、年長は「天の橋立」へ行く予定です。爽やかな秋晴れのもと、思い出に残る遠足になることを願っています。



### ○サツマイモ掘り

10月に、「芋掘り」を予定しています。芋もすくすくと大きく生長しました。大きなイモが沢山獲れることを願っています。収穫した芋で恒例の「焼き芋」をします。

「おいしい!おいしい!」と言って、芋をほおばる子ども達の顔を思い浮かべて芋を焼きたいと思います。



## 10月の主な行事予定

- 10/1(金) 入園願書 配布開始
- 年少遠足(舞鶴公園)
- 4(月) 年長遠足(天橋立)
- 5(火) コロコロ広場(未就園児事業) 10:00
- 6(水) 芋ほり(参観無し)
- 8(金) 年中遠足(グリーンスポーツセンター)
- 15(金) 運動会準備 午前中保育  
早朝・午後預かり有
- 16(土) 運動会 8:30 ※午前中開催
- 17(日) 運動会予備日
- 18(月) 振替休業日(運動会)
- 20(水) 午前中保育(職員研修のため)  
早朝・午後預かり有
- 21(木) 8月誕生会 10:30
- 22(金) 9月誕生会 10:30 10月誕生会 11:15
- 25(月) 令和4年度入園説明会 10:45(参観 10:15~)
- 27(水) 両丹園児大会(年長) 10:00  
年長は遊戯室でリモートによる参加  
全園児通常保育



心こぎめく  
わくわくコーナー



豊かな自然に感謝して!

☆秋も半ばとなり、田んぼの稲刈りも終わり、辺りには涼しい風が吹いています。子ども達は、天気の良い日は園庭の遊具で遊んだり、砂遊びや土山で泥遊び等をして楽しんでいます。また、虫捕り網を持ってトンボを追いかけたり、草山では虫探しに夢中です。近隣に散歩に出かけて、栗のいがやどんぐりを拾ってきたりしています。子ども達の時の自然体験は、豊かな感性を養う上でとても大切です。豊かな自然が身近に手の届く所にある園の環境に、改めて感謝したいと思えます。

☆五十年前以上前になりますが、私が子どもの頃は家族総出で稲刈りをしていました。手刈りで束ねて藁でくくり、稲木に掛けて干しました。父母と祖母と曾祖母と兄弟3人で仕事をしました。その後、機械化が進み仕事は短時間で楽になりました。反面、家族みんなで仕事をした充実感や喜びは無くなってしまいました。稲刈りの時に嗅いだ藁の匂いや、もみ殻を焼いた匂い、仕事の休憩の時に飲んだ生ぬるいお茶の味等、その感覚が今でも蘇ってきます。都会育ちの友人にその話をすると、「うらやましい!」との言葉が返ってきました。効率を最優先する今の世の中で、時代を後戻りさせるわけにはいきませんが、失われていく大切なものにも目を向ける必要性を感じました。

☆先日、テレビを見てみると、森林伐採と土砂崩れの関係について触れていました。最近ではコロナ禍やアメリカでの木材の需要拡大で、外国からの木材が入り込んでくること、日本の木材の需要が高まっていること、そのことは良いこととして、経済性を優先して「皆伐」指定した範囲全ての木を切り取る)によって、保水力が落ちて崖崩れ等の土砂災害が起きやすくなっていること、地球温暖化もそうですが、次世代の子ども達に豊かな自然を残す責任が私達大人にあると痛感しました。

☆本園も平成三十年に京都府から「緑の幼稚園」に認定され、希望が丘に登ったり、木工製品、テンプル・積木)を活用したりしています。今後も、身近な体験を通して、自然に感謝して自然を大切に守っていく態度を身につけて欲しいと願っています。



1